



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 23 年 3 月 1 日(火)
第 7 回東北風景街道協議会 編

3月1日、第7回東北風景街道協議会が仙台市のエルパーク仙台で行われました。当NWからは能登祐子代表、木高研の渡辺千明准教授、能代河川国道事務所の川口文弘の3名が参加しました。主なプログラムは下記のとおりです。

- 東北風景街道協議会における活動報告
- 各パートナーシップにおける活動の自己分析
- 平成23年度の活動計画(案)
- 各パートナーシップの活動報告・委員からの指導・助言

藤崎会長からは「東北風景街道の知名度を上げて全国の風景街道と連携し、活性化を図っていききたい」との挨拶がありました。(参加予定だった東北地方整備局川瀧道路部長は、2月27日に国道112号で発生した雪崩による通行止めの対応のため急遽欠席となりました。)

協議会事務局からは、今年度初めて各県の代表的な道の駅で実施した「パネル展及びアンケート調査」の結果報告がありました。当NW「のしろ白神の道」は、全20団体中訪れたことがあるでは8番目でしたが、訪れてみたいルートでは堂々の1番目、訪れたルートの中で優れた景観ポイントや印象深かったルートでは2番目と高評価でした。

続いて協議会委員による現地視察及び意見交換会の結果報告がありました。視察は10月13～14日「江戸の旅日記から感じる道(岩手県盛岡市～宮古市～北上市)」、10月21～22日「十和田奥入瀬浪漫街道及び黄花紅の東むつ湾ルート(青森県八戸市～十和田市～野辺地町)」の2箇所を実施され、ビューポイント整備やPRテーマ等へのアドバイスがあったとのことでした。その後、「優れた取り組みを表彰する制度の導入」「風景街道パネルの修正案」「広報活動支援」「パネル展でのアンケート修正案」等が事務局より提案され、概ね了承されました。

一連の報告後、各パートナーシップからの活動報告が始まりました。能登代表は嫁見祭り、まち灯り、黒松剪定、歩道社会実験等々の活動について、持ち時間1団体3分の指示どおり、3分ピッタリでくまなく報告を終えました。

その後、各団体は委員からアドバイスや評価をいただきましたが、当NWはアドバイスはなく、逆に当NWを参考にしたいと東京大学の堀先生から次のお話がありました。

- 新聞は写真付きで紹介してもらえよう願います
- 人とのふれあいの場(シチュエーション)づくり
- 資金調達のために補助事業等を活用する

また、「活動資金調達のための補助事業等の申請は難しく大変な作業であるが、のしろ白神には書類作成に長けている優秀な先生がいて、活動資金に恵まれている」とのお話もありました。

会場を仙台商工会議所に移して行われた交流会では、協議会を欠席された川瀧道路部長が短時間ながらもかけつけ、当NWのPRや3月18日予定しているフォーラムへの参加についてご挨拶することができました。また、交流会では、能代から持参したお酒や活動資金調達の一環としてすみれ会が製作している「ロゴ入り石けん」を紹介し、参加者に振る舞いました。

文：川口 文弘



川瀧道路部長のご挨拶で協議会は始まりました。



当NWは登録番号が一番なのでいつも最前列です。能登さんの説明はいつも明快で時間内に終わります。担当係長さんが作成して下さる資料が良いこともその要因です。



前列に並ぶ委員の方々。堀先生からは嬉しいコメントをいただきました。



交流会でも一番手。民官学のチームワークの良さをアピールしながら持参の品々をPRします。どこでも人気のお酒には舟山さんも興味津々です(上)。石鹸やスギの葉染めは女性の関心を引いたようです(下)。